

令和4年度
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和5年3月

令和4年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の自己点検・評価結果を公表致します。

令和5年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

1. 学校の教育目標

本校の教育理念である「社会の発展に貢献すべく、現代社会や産業界が求める人材の育成を行うことを目的とする。そのため、資格取得のみならず、社会的常識と教養を備え、明るく健康的で建設的な考え方をもち、社会人として求められる『主体性』『課題解決力』『実践力』を備えた『気づき、挑戦し続ける人材』の育成に努める」に基づき、学生から社会人への移行がスムーズに行われるよう、様々な学習環境を提供する。

2. R4年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・キャリア教育の浸透および人間性の向上・主体性の育成を目指す。
- ・複数学科が協同して取り組む企業連携活動や各種プロジェクトを実施し、より実践的な環境構築を目指す。
- ・参加者が入学後の成長イメージを具体的に描けるような発信力の高いオープンキャンパスの実施に務める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	4
2	学校における職業教育の特色は明確か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由	学校の理念・目標・人材育成像等については、明文化して学校HPや学生の手引きへの掲載ならびに校内掲示等を行い、いつでも確認できるように工夫している。また、学科ごとの目標（ロードマップ）を図式化し、より学生や保護者、高校生等に分かりやすく示す工夫をしたり、スキルマップを作成し、学生自身が定期的に自己点検できる仕組みの整備も進めている。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
評価理由	教育目標や成績評価の方法と基準、学校運営・経営情報等の情報についてはHPにて公開しており、令和2年度からは、国の修学支援新制度の機関要件を満たしている学校として認定を受けている。業務の効率化については、令和5年度よりMCL専門学校グループとして広報、総務、就職とそれぞれの部門を設け、今までよりも横断的に業務を行う準備を進めている。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由	本校の教育理念に共感してご協力いただける企業等の拡がりからより実践的な学修の機会が増えており、学科をまたいだ学習の場も増加している。また、教員が最先端技術や学生指導法を習得できるよう積極的に外部研修に参加する機会を設けており、研修参加後には校内でのフィードバック研修を実施する等、広く共有するように努めている。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
評価理由	様々な問題を抱える学生が増えている中、丁寧な個別指導や保護者との連携強化により、退学率は最小限に抑えられている。 卒業生の社会的な活躍や評価、キャリア形成への効果等の把握については、一部実施できている。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由	教務課・キャリア支援課・学生課がそれぞれの専門性を活かした支援を行うことができている。令和5年度から新たに就職連携部が新設され、より一層のキャリア支援を行うことを目指している。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、異文化理解等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
評価理由	現在までの教育に対しては対応できているが、今後の教育トレンドや、社会の状況に合わせて柔軟に対応していく必要があると感じている。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由	募集活動に際しては、教育理念や人材育成像、アドミッションポリシーについて理解・共感いただいた上で入学いただけるよう努めている。特に、教育成果についてはその結果に至るまでの経過や活動の目的などを伝えることに重点を置き、より正確に伝えるよう工夫している。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由	法令や専門学校設置基準等に基づいて適正に運営しており、自己評価結果についてはホームページで公開している。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由	教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献については、企業と連携したインターネット安全教室の開催（オンライン）や地元企業のWeb制作、業務用アプリケーションの開発、地産商品のラベル・ポスターデザインなど様々な取り組みを行っている。令和5年度からはMCL専門学校グループとしてゴミ清掃を行うこととしており、本校も参加する予定。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
評価理由	法人の担当部門と連携を図りながら適切に取り組んでいる。	

4. R4年度の総合的な自己点検評価結果と今後の目標

R4年度も新型コロナの影響が続く中ではあったが、感染防止対策に対する学生やご家庭等のご協力のもと、年間を通じて対面授業を維持することができた。また、企業連携などの外部との関わりについても昨年度より活発に活動することができた。R5年度では、新型コロナが5類に引き下げられる中、感染対策に取り組みながら、学生の満足度が上がるよう指導にも努めていきたい。

また、生成系AIの躍進による学習環境の変化に対し、学校としてどのように対応していくかのガイドラインや、カリキュラムの再編も視野に入れながら、これからの時代を生きる学生にとって有益な教育の提供に邁進していきたい。

令和4年度

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
学校関係者評価委員会結果報告書

令和5年7月7日

学校法人龍澤学館

理事長 龍澤 尚孝

令和4年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を6月30日に実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見は指導等を真摯に受け止め、より良い教育より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属	役職等
蔵本 俊秀 様	株式会社ソフトアルファ	システム本部
小野 直人 様	株式会社北日本銀行	人事部長
渡辺 炎如 様	有限会社 哲学堂	
菊池 那紀 様	卒業生	
外川 綾香 様	卒業生	

《事務局》

小林 史朗	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	校長代理
伊藤 政幸	同校	教務課長
畠山 美穂	同校	

2. 開催日時

令和5年6月30日（金）15:15～16:15

3. 次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 令和4年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (3) その他
- (4) 閉会

3. 議論内容

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の教育理念・目標と R4 年度に定めた重点目標と計画、活動内容等について事務局より報告後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成された評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、各項目の達成状況や取り組み状況、改善策等について議論を行った。

(1) 教育理念・目標

教育理念・目標に沿って適切に運営がすすめられたことが報告された。引き続き、学生が意欲的に学習に臨める環境の整備、強化を進めていくことを確認した。

(2) 学校運営

情報公開等については修学支援新制度の対象校として認定を受けている学校として、適切に実施していることが報告された。また、人事・給与に関する規定等について、本部のほうで整備を進めていただいていることも報告され、引き続き適正に運営していくことを確認した。

(3) 教育活動

教員の確保については昨今の人材不足や教育の多様性にも関わってくる部分であるが、地方で教育の現場に携わっていただける人材を探すのに苦戦しており、今後も課題として継続する認識であることが報告された。

(4) 学修成果

就職率について、売り手市場ではあるが、就職先の企業様から学生へ求められるスキルが年々上がってきており、企業と学生とのマッチングがしづらくなってきている部分があること、卒業生との関係性については、担任等の個人ベースでは卒業後も関係性を築くことはできているが「学校全体として」は特に取り組めていない状況が報告された。学校としての仕組みづくりがいまの課題であることを確認した。

(5) 学生支援

卒業生への支援体制については、今年度より「MCL 就職連携部」ができたことで、これから色々と進めていく予定であることが報告された。

(6) 教育環境

これからの教育のトレンドを考えると、さらなる環境の整備の重要性を感じるが、対応しきれていない面も生じてきており、今後の課題として報告された。

(7) 学生の受け入れ募集

オープンキャンパスやガイダンスでは、呼び込み的な甘い言葉を並べるのではなく、真摯に厳しさも含めたリアルな部分を伝え、目標・希望の達成には努力・実行が必要であることを理解したうえで入学、学校の姿勢に共感した入学者の獲得を目指していることが報告された。

(8) 財務

適正に運営できていることから、特に意見は出なかった。

(9) 法令等の遵守

適正に運営できていることから、特に意見は出なかった。

(10) 社会貢献・地域貢献

社会・地域への貢献となるアプリケーション開発や講座の実施、ポスター等のデザインを積極的に手掛けることで還元できていることが報告された。引き続き、地域社会の発展に向けて学校が持つ教育資源を有効に活用していくことを確認した。

(11) 国際交流

適正に運営されていることから、特に意見は出なかった。

4. まとめ

今回も、教職員が一丸となって地域社会や企業等との連携を図りながら健全な学校運営を行い、社会のニーズに対応した人材の輩出や様々な実践経験を積める学習環境の提供に努めて取り組んでいることを確認できた。しかし、昨今の社会情勢の変化は、働き方はもとより生活様式そのものも変えていくことが分かっており、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の教育にかかる期待はますます大きくなると考えられる。社会の変化に対応した教育のより一層の充実と、家庭・保護者との連携強化を確認して閉会とした。